

1.	①	11.	③	21.	①	31.	③	41.	②
2.	④	12.	②	22.	②	32.	①	42.	①
3.	③	13.	①	23.	④	33.	②	43.	①
4.	④	14.	③	24.	①	34.	①	44.	①
5.	①	15.	④	25.	②	35.	②	45.	①
6.	③	16.	④	26.	①	36.	②	46.	③
7.	④	17.	②	27.	③	37.	①	47.	③
8.	④	18.	②	28.	②	38.	③	48.	①
9.	③	19.	③	29.	④	39.	②	49.	②
10.	②	20.	②	30.	②	40.	③	50.	④

1.

解答 ①

【解説】

正解は①の **sunlight** で、「日光、太陽の光」を意味します。**sun**（太陽）と **light**（光）が一つになった、とても分かりやすい単語です。**The plants need water and sunlight to grow.**（植物が育つためには水と日光が必要です）のように使います。他の選択肢を見てみましょう。②**moonlight** は「月光」、③**starlight** は「星の光」、④**shadow** は「影」を意味します。

◆補足：**light**（光）を使った単語は他にもたくさんあります。例えば **streetlight**（街灯）や **flashlight**（懐中電灯）などがあります。身の回りにある光を探して、英語で何と言うか考えてみるのも楽しい勉強法ですよ。

2.

解答 ④

【解説】

正解は④「演奏会、コンサート」です。**concert** は、音楽を聴衆の前で演奏するイベントのことで、日本語の「コンサート」と全く同じように使えます。**I have a ticket for the piano concert.**（私はそのピアノコンサートのチケットを持っています）のように使います。他の選択肢は、①「競争」は **competition**、②「会話」は **conversation**、③「合唱」は **chorus** や **choir** がそれぞれ適切な英単語です。

◆補足：コンサートに関連する単語も一緒に覚えておくと表現が豊かになります。例えば、**concert hall**（コンサートホール）、**band**（バンド）、**singer**（歌手）、**musician**（音楽家）、**audience**（聴衆）、**ticket**（チケット）などがあります。

3.

解答 ③

【解説】

正解は③「～のあとについて行く、～に従う」です。follow は、物理的に誰かの「あとをついて行く」ことと、ルールやアドバイスなどに「従う」という、2つの主要な意味を持つ動詞です。Please follow me. (私についてきてください) や You must follow the traffic rules. (あなたは交通ルールに従わなければなりません) のように使います。①は lead や guide、②は pass、④は wait for が適切な表現です。

◆補足：SNS で気に入ったアカウントを登録することを「フォローする」と言いますが、これは英語の follow (追いかける、動向を追う) から来ています。このように、身の回りのカタカナ語と英単語を結びつけると覚えやすいですね。

4.

解答 ④

【解説】

正解は④の firework で、「花火」を意味します。fire (火) と work (作品) が組み合わさった単語だと考えると覚えやすいかもしれません。普通、花火はたくさん打ち上げられるので、複数形の fireworks の形で使われることがほとんどです。他の選択肢は、①campfire は「キャンプファイヤー」、②fire alarm は「火災報知器」、③bonfire は「たき火」を指します。

◆補足：「花火を見る」は watch the fireworks と表現します。また、「花火大会」のことは a fireworks display や a fireworks festival のように言います。例えば I'm going to the fireworks festival with my family this summer. (今年の夏、家族と花火大会に行きます) のように使えます。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①「必要な」です。necessary は、何かをする上で、あるいはある状態であるために「不可欠な、欠かせない」ことを示す形容詞です。Water is necessary for all living things. (水はすべての生き物にとって必要です) のように使います。②「不要な」は unnecessary で、否定の接頭辞 un-が付いた反対語です。③「十分な」は enough、④「重要な」は important です。

◆補足：It is necessary for A to do ...の形で「A が～することは必要だ」という文でよく使われます。It is necessary for us to protect the environment. (私たちが環境を守ることは必要です)。名詞形は necessity (必要性、必需品) です。

6.

解答 ③

【解説】

正解は③の grass で、公園や庭に生えている「草」や「芝生」を意味します。Don't walk on the grass. (芝生に入らないでください) という看板でよく見かける単語ですね。他の選択肢を見てみましょう。①ground は「地面」、②leaf は（主に木の）「葉」、④flower は「花」を指します。

◆補足：grass は、通常は数えられない名詞（不可算名詞）として扱います。そのため、たくさん生えていても一本一本数えることはせず、a を付けたり複数形の-es を付けたりはしません。芝生全体を一つのものとして捉えるのがポイントです。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④の winner で、「勝者、優勝者」を意味します。動詞の win（勝つ）に、「～する人」を表す-er を付けた形ですね。スポーツの試合やコンテストなどで勝った人やチームを指します。①player は「選手」、②loser は winner の反対で「敗者」、③beginner は「初心者」という意味です。これらは皆、スポーツやゲームの場面でよく使われる単語なので、セットで覚えておくと良いでしょう。

◆補足：動詞に-er や-or をつけると「～する人」や「～するもの」という意味になる単語はたくさんあります。例えば、teach（教える）に-er がついて teacher（先生）、sing（歌う）に-er がついて singer（歌手）となるのが分かりやすい例です。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④の tour で、「（観光）旅行、見学」を意味します。特に、目的地で名所などを順に見て回るような場合にぴったりの単語です。a bus tour（バスツアー）などが良い例ですね。他の選択肢を見てみましょう。①travel は「旅行」全般を指す最も一般的な言葉、②journey は（特に長い）「旅、道のり」、③drive は「車での移動、ドライブ」を指します。

◆補足：tour という単語から派生した言葉に tourist（観光客）があります。また、見学ツアーは a guided tour（ガイド付きツアー）や a factory tour（工場見学ツアー）のように表現されます。セットで覚えておくと便利です。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③「完全に、すっかり」です。**completely** は、物事が 100%の状態、まったく例外がないことを強調する副詞です。**The work is completely finished.**（その仕事は完全に終わった）のように、形容詞や動詞を修飾します。①「ほとんど」は **almost**、②「時々」は **sometimes**、④「たぶん」は **maybe** や **probably** が適切な単語です。

◆補足：**completely** は、形容詞の **complete**（完全な）に **-ly** を付けた形です。**This is a complete list of our members.**（これが私たちのメンバーの完全なリストです）のように、**complete** は形容詞としても使えます。形容詞と副詞の形と働きの違いを理解しておくと、文法問題にも強くなります。

10.

解答 ②

【解説】

正解は②の **roof** で、建物の「屋根」を指します。雨や風、日光などから家を守る一番上の部分です。他の選択肢は、①**wall** が「壁」、③**floor** が「床」、④**door** が「ドア」と、それぞれ家の違う部分を指す単語です。家のパーツを表す基本的な単語として、セットで覚えておくと便利ですね。

◆補足：**roof** と混同しやすいのが、次の問題で出てくる **ceiling**（天井）です。**roof** が家の外側にある「屋根」なのに対し、**ceiling** は部屋の内側から見上げた「天井」を指します。この違いをしっかりと理解しておきましょう。

11.

解答 ③

【解説】

正解は③「(社会や文化の) 習慣、風習」です。**custom** は、国や地域、社会で昔から行われている「しきたり」や「ならわし」を指します。例えば、日本では食事の前に「いただきます」と言うのは良い **custom** です。①「(個人の) 癖」は **habit**、②「注文」は **order**、④「衣装」は **costume** で、それぞれ意味が異なります。**custom** と **costume** はつづりが似ているので間違えないようにしましょう。

◆補足：**customs** のように複数形にすると、「税関」という意味になります。海外旅行の際に空港で目にする単語です。また、**custom** は社会的な習慣、次の単語の **habit** は個人的な習慣、という使い分けを理解することがとても大切です。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②の **ballet** で、音楽に合わせて踊る西洋の舞台舞踊「バレエ」を指します。日本語とほぼ同じように使うことができます。**She has been taking ballet lessons since she was five.**（彼女は5歳の時

からバレエのレッスンを受けています) のように使います。他の選択肢は、①concert が「コンサート」、③opera が「オペラ、歌劇」、④chorus が「合唱」と、それぞれ異なる舞台芸術のジャンルです。
◆補足：バレエを踊る女性舞踊家は ballerina (バレリーナ)、男性舞踊家は ballet dancer と呼ばれます。The Nutcracker (くるみ割り人形) は、世界で最も有名なバレエ作品の一つです。

13.

解答 ①

【解説】

正解は①「目標、ゴール」です。goal は、達成しようと努力する具体的な「目標」や、サッカーなどのスポーツで得点となる「ゴール」を指します。What is your goal for this year? (あなたの今年の目標は何ですか?) のように尋ねることができます。②「夢」は dream ですが、goal は dream よりも具体的に達成可能な目標というニュアンスがあります。③「計画」は plan、④「規則」は rule が適切な単語です。

◆補足：スポーツで「ゴールを決める」ことは score a goal と表現します。また、目標について話すと、「目標を立てる」は set a goal、「目標を達成する」は achieve a goal や reach a goal という動詞と一緒に使われることが多いです。

14.

解答 ③

【解説】

正解は③の survive で、「生き残る、生き延びる」という意味です。事故や災害、病気といった困難な状況を乗り越えて命をつなぐ、というニュアンスで使われます。他の選択肢を見てみましょう。

①suffer は「苦しむ」、②save は「～を救う、助ける」、④support は「～を支える、支援する」という意味です。save は誰かが他者を助けるのに対し、survive は主語自身が生き延びることを表します。

◆補足：survive の名詞形は survival (サバイバル) で、「生存」を意味します。災害などに備える「防災用品」のことを survival goods や survival kit と言ったりします。動詞と名詞をセットで覚えておくと語彙が広がります。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「質問、問い」です。question は、何かを知るために尋ねる言葉や、試験などで答えるべき「問い」を意味します。Please raise your hand if you have a question. (質問がある人は手を挙げてください) のように使います。①「答え」は answer で question の対義語、②「問題点」は problem、③「宿題」は homework がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：question は動詞としても使われ、「～に質問する」という意味になります。しかし、より一般的には ask a question という形で「質問をする」と表現することが多いです。この使い方に慣れておく
と便利です。

16.

解答 ④

【解説】

正解は④の language で、人々がコミュニケーションのために使う「言語、ことば」を意味します。英語（English）や日本語（Japanese）など、思考や文化の体系そのものを指す言葉です。他の選択肢を見てみましょう。①letter はアルファベットなどの「文字」または「手紙」、②message は「伝言」、③word は「単語」を指し、これらはすべて language を構成する要素の一部です。

◆補足：「外国語」は a foreign language と言います。I want to learn several foreign languages.（私はいくつかの外国語を学びたいです）のように使います。body language（身振り言語）のように、言葉以外のコミュニケーション手段を指すこともあります。

17.

解答 ②

【解説】

正解は②の carefully で、「注意深く、慎重に」という意味の副詞です。動詞の動作がどのような様子で行われるかを説明する言葉です。She carefully carried the glasses.（彼女は注意深くグラスを運んだ）のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①careless は「不注意な」、③careful は「注意深い」という意味の形容詞です。④slowly は「ゆっくりと」という意味の副詞です。

◆補足：形容詞に-ly を付けると副詞になることがよくあります。careful（注意深い）に-ly が付いて carefully（注意深く）になるのがその典型例です。形容詞は名詞を修飾し、副詞は主に動詞や形容詞を修飾するという働きの違いを理解しておきましょう。

18.

解答 ②

【解説】

正解は②の fire で、「火」や「火事」を意味します。料理や暖房に使う役に立つ「火」から、すべてを燃やしてしまう恐ろしい「火事」まで、両方の意味で使われます。The house was on fire.（その家は火事だった）のように使います。他の選択肢は、①water が「水」、③wind が「風」、④wood が「木、木材」で、古代ギリシャの四大元素のうちの3つですね。

◆補足：fire は動詞として使うと「～を解雇する」という全く違う意味になることもあります。また、firefighter（消防士）、fire station（消防署）、firework（花火）など、fire が付く単語もたくさんあります。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③の especially で、「特に、とりわけ」と、多くのものの中から一つを強調する時に使う副詞です。I like fruits, especially strawberries.（私は果物が好きです、特にイチゴが）のように、好きなものの中でも一番を挙げるときなどに便利です。①usually は「たいてい」、②actually は「実は」、④suddenly は「突然」という意味で、文のニュアンスが全く異なります。

◆補足：especially と似ている special（特別な）は形容詞です。This is a special present for you.（これはあなたのための特別なプレゼントです）のように名詞を修飾します。especially は副詞なので、I especially like...のように動詞を修飾したり、文全体を修飾したりする働きがあります。品詞の違いを意識することが大切です。

20.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を祝う」です。celebrate は、誕生日や記念日、勝利や成功などを喜んで「祝う」という時に使う動詞です。例えば、Let's celebrate your success!（あなたの成功をお祝いしましょう!）のように使います。他の選択肢は、お祝いの場面に関連する行動ですが意味が異なります。①「～を集める」は collect、③「～を飾る」は decorate、④「～を交換する」は exchange が適切な単語です。

◆補足：celebrate の名詞形は celebration で、「お祝い、祝賀会」という意味になります。We had a big celebration for my grandfather's 80th birthday.（私たちは祖父の 80 歳の誕生日を盛大にお祝いしました）のように使うことができます。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①「across」です。これは、道路、川、都市などの明確な境界があるものの一方から他方へ、という意味の前置詞です。例えば、「The post office is just across the street.」（郵便局は通りの真向かいです）。②「cross」は動詞形（横切る）、③「along」は～に沿って、④「around」は～の周りに、を意味します。

◆補足：「道を横切って歩く」は To walk across the street と言い、前置詞 across を使います。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②の **Russia** で、国名の「ロシア」です。国名などの固有名詞は、文の最初でなくても、常に最初の文字を大文字で書くというルールがあります。他の選択肢は、①**China** が「中国」、③**Canada** が「カナダ」、④**India** が「インド」と、それぞれ違う国名です。有名な国の名前は英語で書けるようにしておくと良いでしょう。

◆**補足**：国名に関連して、「～人」や「～語」、「～の」といった言い方も大切です。**Russia** の場合は **Russian**（ロシアの、ロシア人、ロシア語）となります。例えば、**She is a famous Russian pianist.**（彼女は有名なロシア人ピアニストです）のように使います。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④の **century** で、「世紀」または「100 年間」を意味します。私たちは今、21 世紀（the 21st century）に生きていますね。他の選択肢を見てみましょう。①**decade** は「10 年間」、②**history** は「歴史」、③**period** は「期間、時代」を意味する一般的な言葉です。100 年という特定の期間を表すのは **century** だけです。

◆**補足**：**cent** という言葉は「100」に関連することが多いです。例えば、1 ドルは 100 セントですし、長さの単位 **centimeter** は 1 メートルの 100 分の 1 です。このように関連付けると、**century** が 100 年であることが覚えやすくなります。

24.

解答 ①

【解説】

正解は①の「文化」です。**culture** は、ある国や地域に昔から伝わる生活様式、芸術、食、考え方などを幅広く指す言葉です。**I want to learn about different cultures.**（私は様々な文化について学びたいです）のように使います。他の選択肢は、②「自然」は **nature**、③「冒険」は **adventure**、④「未来」は **future** がそれぞれ対応する英単語です。

◆**補足**：**culture** の形容詞形は **cultural** で、「文化の、文化的な」という意味です。**cultural event**（文化的な催し）や **cultural differences**（文化的な違い）のように、他の名詞とセットで使われることが多いです。

25.

解答 ②

【解説】

正解は②の **half** で、「半分、2 分の 1」を意味します。数や量、時間など、様々なものの半分を表すのに使えます。Cut the apple in half. (そのリンゴを半分に切ってください) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①**part** は「部分」、③**piece** は「一片、一個」、④**quarter** は「4 分の 1」という意味です。

◆**補足**：**half** は発音に注意が必要で、真ん中の **l** は発音しません。「ハーフ」のように聞こえます。また、「30 分」を **thirty minutes** という代わりに **half an hour** (1 時間の半分) と表現することも非常によくあります。

26.

解答 ①

【解説】

正解は①「色彩豊かな、カラフルな」です。**color** (色) に **ful** (～に満ちた) が付いた形で、言葉通りたくさんの色があふれている様子を表します。a colorful shirt (カラフルなシャツ) や colorful fireworks (色とりどりの花火) のように使います。②「注意深い」は **careful**、③「力強い」は **powerful**、④「美しい」は **beautiful** が適切な単語です。

◆**補足**：名詞に **-ful** を付けると、「～でいっぱい」という意味の形容詞になることがよくあります。例えば **use** (使うこと) → **useful** (役に立つ)、**wonder** (驚き) → **wonderful** (すばらしい) など、たくさんの例があります。このパターンを知っておくと、知らない単語でも意味を推測しやすくなります。

27.

解答 ③

【解説】

正解は③の **opinion** で、ある物事に対するその人の「意見、考え、見解」を意味します。個人的な判断や信じていることを表す言葉です。他の選択肢を見てみましょう。①**idea** は「思いつき、アイデア」、②**feeling** は「感情、気持ち」、④**fact** は客観的な「事実」を指し、主観的な考えである **opinion** とは区別されます。

◆**補足**：自分の意見を言う時に便利な表現が **In my opinion, ...** です。「私の意見では、～です」という意味で、会話や文章の最初に置かれます。**In my opinion, reading books is important.** (私の意見では、本を読むことは大切です) のように使うことができます。

28.

解答 ②

【解説】

正解は②「メートル」です。「meter」はメートル法の長さの主要単位で、100 センチメートルに相当します。ほとんどの国で長さの標準単位です。①「会う」は動詞の meet、③「肉」は meat、④「問題」は matter です。

◆補足：イギリス英語でのスペルは metre です。1000 メートルは 1kilometer です。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④「～することができる」です。「be able to do」という表現は、助動詞 can と同じ意味です。能力について話すために使われます。will のような助動詞の後や不定詞としてなど、文法的に can が使えない状況で be able to が使われます。例文は「私は上手に英語を話せるようになるだろう」という意味です。

◆補足：be 動詞を変えることで、どの時制でも be able to を使うことができます。例：I was able to... (～することができた)、I have been able to... (～することができています)。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を狩る、～を探し回る」です。hunt はもともと「狩りをする」という意味ですが、hunt for ～の形で、失くしたものや必要なものを「必死に探し回る」という比喩的な意味でも広く使われます。Police are hunting for the lost child. (警察が行方不明の子供を捜索している) のように使います。

①は run away from ～、③は be afraid of ～、④は take care of ～などが適切な表現です。

◆補足：同じ「探す」でも look for ～は単に探す行為を指しますが、hunt for ～には、より熱心に、広範囲を探し回るという強いニュアンスが含まれています。状況によって使い分けることで、より細かい気持ちを表現できます。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③「公共の、公衆の」です。public は、個人や特定のグループのものではなく、社会のすべての人々に関わる、または利用できるものであることを示します。a public park (公園) や public transportation (公共交通機関) のように、他の名詞を修飾します。④「個人の、私的な」を意味する private は、public の正反対の言葉です。①「人気のある」は popular、②「特別な」は special です。

◆補足：public は名詞として「一般の人々、大衆」という意味もあります。また、in public という形で「人前で、公の場で」という熟語としてもよく使われます。He doesn't like speaking in public. (彼は人前で話すのが好きではありません)。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①の behind で、「～の後ろに（で）」という位置を表す前置詞です。物や人の背後にあることを示します。Someone is standing behind you. (誰かがあなたの後ろに立っていますよ) のように使います。他の選択肢は、②before は「～の前に（時間・順序）」、③beside は「～の隣に」、④between は「(2つのものの) 間に」という意味で、それぞれ違う位置関係を表します。

◆補足：behind の反対、つまり「～の前に」という位置を表す表現は in front of ～です。There is a bus stop in front of the station. (駅の前にバス停があります) のように使います。behind と in front of はセットで覚えておくと、位置を説明するのにとても役立ちます。

33.

解答 ②

【解説】

正解は②「競争、レース」です。「race」は、ランナー、馬、車などの間で、どれが最も速いかを競う競争です。例えば、「He won the 100-meter race.」(彼は 100 メートル競走で優勝した)。(①「米」は rice、③「上げる」は動詞の raise、④「雨」は rain です。

◆補足：race は動詞としても使われ、「競争する」を意味します。例：「Let's race to that tree!」(あの木まで競争しよう!)。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①「生きる、住んでいる」です。live は「生命がある」という意味の「生きる」と、「ある場所に暮らしている」という意味の「住んでいる」の両方を表す基本的な動詞です。Where do you live? (どこに住んでいますか?) は、自己紹介で頻繁に使われるフレーズですね。②「去る、出発する」は leave、③「見つける」は find、④「横になる」は lie という単語を使います。

◆補足：live は形容詞として使われることもあり、その場合は発音が「ライヴ」に変わって「生の、ライブの」という意味になります。a live performance (生演奏) や live music (ライブ音楽) のように使います。動詞の「リヴ」と形容詞の「ライヴ」、同じつづりでも発音と意味が異なるので注意が必要です。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②「国の、国民の」です。「national」は、国全体とその人々に関連する形容詞です。例えば、「Soccer is a national sport in Brazil.」（サッカーはブラジルの国民的スポーツです）。①「国際的な」は international です。

◆補足：national holiday は国民の祝日です。national team は国の代表チームです。名詞は nation（国、国民）です。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「運動選手、アスリート」です。「athlete」は、スポーツが非常に得意で、組織されたスポーツイベントで競技する人です。例えば、「He is a top athlete in Japan.」（彼は日本のトップアスリートです）。①は artist、③は architect、④は assistant です。

◆補足：体の動きに関連する学問、しばしばスポーツに関連するものは athletics です。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①「～をあきらめる」です。give up は「～をやめる、断念する」という意味で、目標や習慣などを途中でやめてしまう時に使います。例えば Don't give up your dream.（あなたの夢をあきらめないで）のように、励ましの言葉としてもよく登場します。②「～を拾い上げる」は pick up、③「～を配る」は give out、④「～を始める」は start や begin がそれぞれ適切な英語表現となります。

◆補足：give up は、後ろに動詞の ing 形（動名詞）を続けて「～することをあきらめる」と表現することもできます。例えば、My father gave up smoking last year.（私の父は去年、禁煙しました）のように使います。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③「be similar to」です。この表現は、二つのものが似ているが、全く同じではないことを意味します。例えば、「Your opinion is similar to mine.」（あなたの意見は私のと似ています）。①「be same as」は同一であることを意味します。②と④は不正確な表現です。

◆補足：名詞形は similarity（類似点）です。

39.

解答 ②

【解説】

正解は②の attend で、「～に出席する、～に通う」という意味の動詞です。会議、結婚式、授業、教会などの集まりに「出席する」ことや、学校に「通う」ことを表します。All students must attend the meeting. (すべての生徒はその会議に出席しなければなりません) のように使います。①invite は「～を招待する」、③join はクラブなどに「参加する、加わる」、④enter は「～に入る」という意味です。

◆補足：attend の名詞形は attendance（出席）です。また、attention（注意、注目）という単語も attend から派生しています。「注意を払う」ことは、心や意識がそこに出席している、と考えると関連性が分かりやすいかもしれません。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③の outdoor で、「屋外の、野外の」という意味の形容詞です。outdoor sports（屋外スポーツ）や an outdoor concert（野外コンサート）のように、名詞の前に置いてその種類や場所を表します。他の選択肢を見てみましょう。①open は「開いている」、②indoor は outdoor の反対で「屋内の」、④outside は「外で、外に」という副詞や「～の外」という前置詞として使われます。

◆補足：outdoor（形容詞）とよく似た単語に outdoors（副詞）があります。s が付くと「屋外で」という意味になり、Let's eat lunch outdoors.（お昼ご飯は外で食べよう）のように動詞を修飾します。an outdoor lunch（屋外での昼食）と eat lunch outdoors（昼食を屋外で食べる）のように、品詞の違いで使い方が変わる点を覚えておくと便利です。

41.

解答 ②

【解説】

正解は②の seat で、「座席」を意味します。電車やバス、映画館、スタジアムなどの、人が座るために用意された場所を指します。Is this seat taken?（この席は空いていますか？）は、乗り物などで使える便利なフレーズです。他の選択肢は、①desk が「机」、③chair が「いす」、④table が「テーブル」です。chair は家具としての「いす」自体を指すのに対し、seat は座る場所や権利というニュアンスで使われます。

◆補足：「お座りください」と丁寧に言う時に Have a seat, please. や Take a seat, please. という表現を使います。これは Sit down. よりも丁寧な言い方です。また、動詞の sit（座る）と名詞の seat（座席）を混同しないように注意しましょう。

42.

解答 ①

【解説】

正解は①「画面、スクリーン、ついたて」です。screen は、テレビ、パソコン、スマートフォンの「画面」や、映画館の「スクリーン」を指す最も一般的な単語です。また、部屋の間仕切りに使う「ついたて」や「びょうぶ」も screen と呼びます。②「舞台」は stage、③「場面」は scene、④「絵画」は painting がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：screen は動詞として使われると、「～をさえぎる、保護する」や「(映画など) を上映する」といった意味になります。Sunscreen（日焼け止め）は、太陽の光（sun）から肌を screen（保護）するもの、と考えると覚えやすいですね。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「野原、畑、競技場」です。field はとても意味の広い単語で、木があまり生えていない開けた土地、つまり「野原」や「畑」、そして野球やサッカーをするための「競技場」などを指します。The children are playing in the field.（子供たちが野原で遊んでいる）のように使います。②「森」は forest、③「池」は pond、④「丘」は hill がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：field は、物理的な場所だけでなく、学問などの「分野、領域」という意味でもよく使われます。a field of study（研究分野）のように使いますが、まずは「野原、競技場」という基本的な意味をしっかりと覚えましょう。

44.

解答 ①

【解説】

正解は①「汚い」です。dirty は、泥やほこり、食べこぼしなどで汚れている状態を表す形容詞です。Please wash your dirty hands before dinner.（夕食の前に汚れた手を洗いなさい）のように使います。②「きれいな」は clean で、dirty の正反対の言葉です。③「暗い」は dark、④「乾いた」は dry がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：dirty は、名詞の dirt（泥、汚れ）から作られた形容詞です。dirt に -y が付いて dirty になっています。比較級は dirtier、最上級は dirtiest と、y を i に変えて -er, -est を付ける形です。

45.

解答 ①

【解説】

正解は①「バンド、楽団」です。**band** は、音楽を演奏するグループのことで、特にポピュラー音楽やジャズの楽団を指すことが多いです。日本語の「バンド」と全く同じ感覚で使えます。**I want to join a brass band.** (私は吹奏楽団に入りたいです) のように使います。②「踊り」は **dance**、③「劇」は **play** や **drama**、④「合唱」は **chorus** が適切な単語です。

◆補足：**band** には「ひも、帯」という意味もあります。例えば、髪を結ぶゴムは **a hair band**、輪ゴムは **a rubber band** と言います。音楽のバンドなのか、ひものことなのかは、文脈から判断するようにしましょう。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③の **tourist** で、「観光客」を意味します。特に、楽しみのために旅行をしている人を指す言葉です。**Kyoto is full of tourists from all over the world.** (京都は世界中からの観光客でいっぱいです) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①**guide** は「案内人」、②**stranger** は「見知らぬ人」、④**traveler** は「旅行者」全般を指し、出張などビジネス目的の人も含むより広い言葉です。

◆補足：**tourist** に関連する言葉として、「観光旅行」を意味する **tour** や、「観光事業」を意味する **tourism** があります。**tour** という単語が共通しているので、まとめて覚えると効率的です。例えば、**I took a tour of the castle.** (私はそのお城のツアーに参加した) のように使います。

47.

解答 ③

【解説】

正解は③「旗」です。**flag** は、国や団体などを象徴する布製の「旗」を指します。オリンピックの開会式では、各国の選手が自国の **flag** を持って行進しますね。**The national flag of Japan is called the Hinomaru.** (日本の国旗は日の丸と呼ばれています) のように使います。①「地図」は **map**、②「紋章」は **emblem**、④「看板」は **sign** が適切な単語です。

◆補足：動詞としての **flag** には、「(力や興味などが) 衰える、弱まる」という意味があります。また、重要な箇所に印をつける「付箋」のことも英語で **flag** と呼ぶことがあります。

48.

解答 ①

【解説】

正解は①「international」です。この形容詞は、二つ以上の国が関わることを意味します。例えば、「an international airport」（国際空港）。inter-（間に）と nation（国）から成り立っています。②「national」は国全体に関連する、国内の、③「natural」は自然の、④「traditional」は伝統的な、という意味です。

◆補足：international の反対語は domestic（国内の）です。

49.

解答 ②

【解説】

正解は②「歩いて、徒歩で」です。on foot は、バスや電車などの乗り物を使わずに、自分の足で移動することを表す決まった言い方です。My house is not far, so I came on foot.（私の家は遠くないので、歩いて来ました）のように使います。①「急いで」は in a hurry、③「時間通りに」は on time、④「疲れて」は tired が適切な表現です。

◆補足：交通手段を言うときは by bus（バスで）や by train（電車で）のように by を使うのが基本ですが、徒歩の場合だけは特別に on foot を使います。この例外をしっかりと覚えておきましょう。

50.

解答 ④

【解説】

正解は④の village で、「村」を意味します。人々が集まって住んでいる場所で、town（町）よりも小さく、city（都市）よりもかなり小さい共同体を指します。My grandparents live in a small village in the mountains.（私の祖父母は山の中の小さな村に住んでいます）のように使います。①town は「町」、②city は「市、都市」、③country は「国」または「田舎」を意味します。

◆補足：村に住んでいる人のことは villager と言います。village → town → city という大きさの順で覚えておくと、単語の使い分けがしやすくなりますよ。
